

豊明市こども計画策定に向けた
豊明市こどもまんなかワークショップ
【実施報告書】

目 次

1	実施概要.....	1
	（1）実施の目的.....	1
	（2）実施の概要.....	1
	（3）実施プログラム.....	1
2	ワーク1の結果.....	2
	（1）テーマ.....	2
	（2）意見の概要.....	2
	（3）意見の内容.....	2
3	ワーク2の結果.....	8
	（1）テーマ.....	8
	（2）意見の概要.....	8
	（3）意見の内容.....	8

2026 年 8 月

豊 明 市

1 実施概要

(1) 実施の目的

「豊明市こども計画策定に向けた豊明市こどもまんなかワークショップ」は、2027 年度を初年度とする「豊明市こども計画」の策定にあたり、豊明市在住・在学のこども・若者の意見を収集するとともに、基礎資料とするために実施しました。

(2) 実施の概要

ワークショップの実施概要は次のとおりです。

区 分	内 容
参加人数	市内在住・在学の小学生 5 人、中学生 6 人、大人 7 人
	大学生ボランティア 5 人
実施期間	2026 年 7 月 25 日（土） 午前 9 時 30 分～正午
会場	豊明市役所 2 階ホール

(3) 実施プログラム

ワークショップの当日の流れは次のとおりです。

項 目	内 容
開会のあいさつ	
ミニ講義（こどもの権利とは？）	
ワークショップ概要説明	
ワーク 1	<p>こども こどもの権利・こどもが大切にされるってどんなこと？ 「家庭」「学校」「社会」「そのほか」の 4 つの場面で、自分が『大切にされているな』と感じる時、『もやもや』するときはどんなときか考える。</p> <p>大人 こどもにとって大切な権利はどんな権利？ 「家庭」「学校」「社会」「そのほか」の 4 つの場面で、どんなことがこどもにとって良いことを考える。（『いまできていること』『大切だけどできていないこと』）</p>
ワーク 2	<p>こども どんなまちなら「大切にされている」と感じて、住み続けたい？ ワーク 1 の大切にされてるなと感じることが増え、もやもやが解消して、住み続けたい豊明市となるためにはどんなこと・もの（居場所、応援してくれる大人、遊び、相談できる人、便利なくみや支援など）が必要かを考える。</p> <p>大人 こどもが「大切にされている」と感じて、住み続けたいと思えるまちとは？ こどもたちが大切にされていると感じ、将来も住み続けたいと思える豊明市にするために、どんなこと・もの（居場所、体制、支援、大人の意識改革など）が必要かを考える。</p>
共有・発表	
閉会あいさつ	

2 ワーク1の結果

(1) テーマ

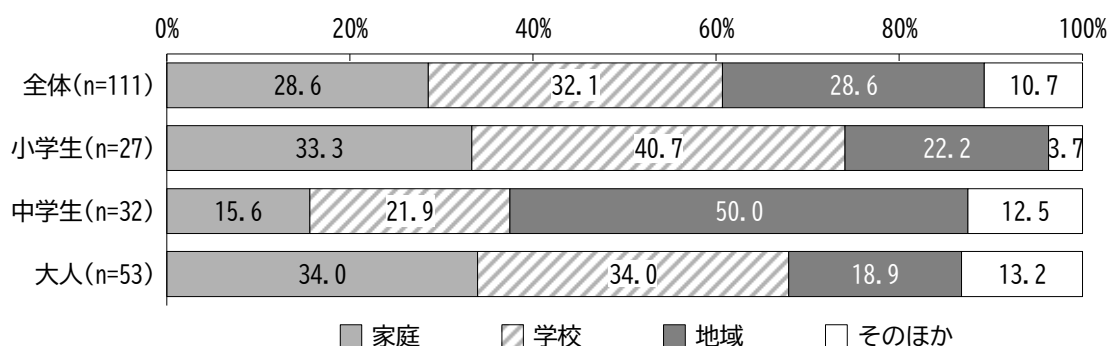
こども こどもの権利・こどもが大切にされるってどんなこと？

大人 こどもにとって大切な権利はどんな権利？

(2) 意見の概要

全体で出された意見は、111件でした。年代別にみると、小学生が27件、中学生が32件、大人が53件となっています。

また、分野別にみると、小学生では「学校」(40.7%)、中学生では「地域」(50.0%)、おとなでは「家庭」「学校」(各34.0%)に関することがそれぞれ最も高くなっています。



(3) 意見の内容

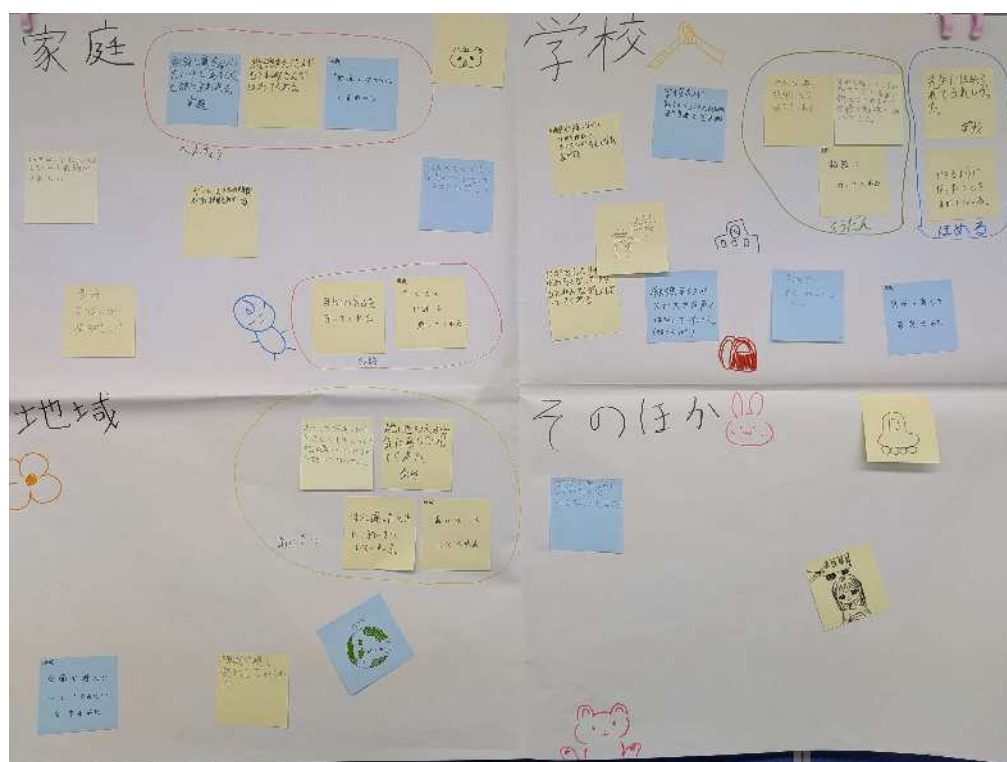
① 小学生

○小学生が『大切にされているな』と感じることは、家庭のことでは「話を聞いてくれる」、学校のことでは先生や友達に「ほめられる」、地域のことでは「あいさつ」をかわすことが、それぞれ多くなっています。

○一方、『もやもや』するときは、家庭のことでは「親から叱られる」こと、学校のことでは先生や友達から「叱られる・否定される」が、それぞれ多くなっています。

大切にされていること ※原文のまま	
■ 家庭のこと	
自分の話をきいてくれる	
たくさんお話を聞いてくれる	
勉強をたくさんするとお母さんがほめてくれる	
好きなことに応えてくれる家族がうれしい	
ゲーム、スマホの時間が制限されている	
毎日ごはんが美味しい！	

大切にされていること ※原文のまま	
■ 学校のこと	
分からない事を質問したら答えてくれる！	
分からないところがあったら分かるまで教えてくれるから学校の勉強が楽しくできる	
相談にのってくれる	
先生にほめられてうれしかった	
できるようになったことをほめてくれる	
友達に足が速いなどとほめられると、メンタルが強くなり気がする	
けがをしったり体調がわるくなったりするとみんながしんぱいしてくれる	
■ 地域のこと	
あいさつがあったり、やさしくしてくれる地域の人がいるから話しかけやすい	
地いきの人が元気にあいさつしてくれる	
すれ違ったときに、あいさつしてくれる	
あいさつをしてくれる	
横断歩道を安心してわたれる！	
もやもやすること ※原文のまま	
■ 家庭のこと	
勉強に集ちゅうしたいけど「あそんで」と妹に言われる	
「勉強しなさい」と言われた	
少しのことでも家族がおこってくることが悲しい	
■ 学校のこと	
学校の人に、あっちからぶつかったのにあやまれと言われた	
勉強するスペースで大きな声ではなしていたこと（他の人が）	
先生がよくおこってくる。こわい…	
自分の考えを否定された	
■ 地域のこと	
公園で遊んでいて「うるさい」と言われた	
■ その他のこと	
部活を楽しみにしていたのになくなってしまった	

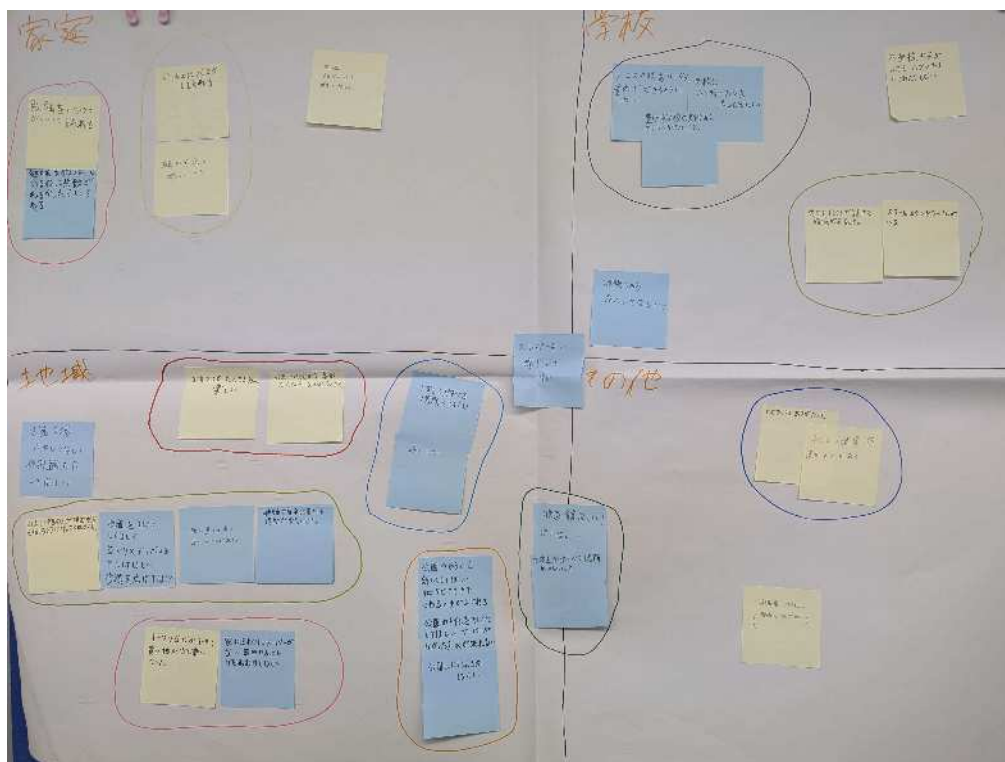


② 中学生

○中学生が『大切にされているな』と感じることは、地域のことで「祭り・行事」があって楽しいことが多くなっています。

○一方、『もやもや』するときは、学校のことで「暑さ対策」が、地域のことで「道路・歩道」「公園」の安全対策等がそれぞれ多くなっています。

大切にされていること ※原文のまま	
■ 家庭のこと	
いっしょにバスケットしてくれる	
親が話をきいてくれる	
おこづかいを好きに使える	
勉強をしたほうがいいと言われる	
■ 学校のこと	
不登校の子がいてもハブいたりいじめたりしない	
先生と1対1で話せる環境があること	
スクールカウンセラーさんがいる	
■ 地域のこと	
おまつりがたくさんあって楽しい	
おまつりなどの行事がたくさん行なわれるところ	
みまもり隊の人が横断歩道をわたるときに守ってくれること	
オークワなどができて買い物が少し楽になった	
■ その他のこと	
とよあけんありがたい	
子どもの健康・保健サービスがある	
肖像権守られる（学校のブログなど）	
もやもやすること ※原文のまま	
■ 家庭のこと	
勉強をがんばっているのに点数がわるかったらおこられる	
■ 学校のこと	
テニスの時あつから屋内でできるようにしたい	
学校にハンディーファンをもっていきたい！	
豊明中学校の美術室にエアコンがないこと	
補習のなくしてほしい！！	
■ 地域のこと	
すずしく遊べる場所がほしい	
日影が少ない	
歩道をキレイにしてほしい、草かりやデコボコを平にしてほしい、歩道を広げてほしい	
細い道から車が出てくる時がある	
自転車で安全に走れる場所が少ないこと	
家のまわりにスーパーがない、藪田の方にも目をむけてほしい	
公園の遊具を新しくしてほしい、サビでて手でさわると手がよごれる	
公園のトイレをキレイにしてほしい、ペーパーがなかったり水が流れない	
公園に自販機がほしい	
映画館ほしい！イオンほしい	
中学生が遊べる場所が少ないこと	
お金支援ふやしてほしい、休み週5にしてほしい	
■ その他のこと	
エレベーター増やしてほしい	



③ 大人

○大人が『いまできていること』は、家庭のことでは「会話」「こどもの意思の尊重」など、学校のことでは「登下校時の見守り」「ボランティア活動」等、地域のことでは「祭り・行事」が、それぞれ多くなっています。

○一方、『大切だけどできていないこと』は、家庭のことでは「親自身のこと」や「こどもと接する時間」のことなど多岐にわたっています。学校のことでは「登下校時の見守り」が、地域のことでは「地域交流」「こども会」、その他のことで「こども同士で遊べていない」が、それぞれ多くなっています。

いまできていること ※原文のまま	
■ 家庭のこと	
子供がやりたいことを聞き、可能な限り挑戦させる	
やりたいと言った習いごとをしている	
会話すること、共有することを大切にしている	
子どもとじっくり話をすること	
週に1回は一緒に遊ぶ時間を作る	
健康的な食事（畑の野菜）	
2世帯多い、祖父母のふれあい	
姉が使ったものを妹が使うかどうか選択できるようにしている	
勉強、ゲーム・動画、習い事、それぞれ時間を決めて取り入れている、と思う	
親がゲームをいっしょにやってくれる	
■ 学校のこと	
登下校時の交通安全について学校からの交通指導	
通学バスがある（小学校）	
スクールガードボランティアをやっている	
登下校時、スクールガードさんが見守ってくれる	
登下校時の見守り年配の方の活躍	
区のボランティアに参加していて、朝他の保護者と情報交換できている	
学校でボランティア（子供向け）の企画がある	
学校でボランティア制度がある	
学校のボランティアに参加している	
P T A活動は無理のない範囲にしてくれている	
行かないという選択もある	
学校で休み時間がある	
先生たちの対応	
■ 地域のこと	
地域のお祭りや行事に積極的に参加している	
地域行事に参加している	
お祭りの伝統（たいこ、かぐら）	
お祭りがある	
地域のスポーツクラブは安価でよい指導をしてくれる	
地域の環境が整備されている（きれい、危険箇所が少ない）	
■ その他のこと	
子供が学校外で友人と遊びたい時の送迎等	
児童館へ行っている（人との交流ができている）	
図書館にたくさん本がある	

■ 家庭のこと
子供の習い事や予定などに割く時間が多く、大人が疲れがち（リフレッシュできていない?!）
父と母で子育てに関する知識力の差
今日あったことなどゆっくり聞く時間がとれていない
人数が多いと宿題をみたり、音読を聞くことが適当になっている
早く寝かしつけることができていない
朝ごはんは食べているけれど野菜をとり入れることができない…
テレビやゲームがないと長く過ごせない
スマホの使用時間
■ 学校のこと
登校時の見守り、緊急時の対応
登校のときに見守りをしてくれているが、限られている
学校や友達の情報が十分得られない
中学校により、制服のアイテムに差がある
学校に部活動が無くなっちゃった
■ 地域のこと
地域の方との交流が少ない、子供があいさつしない、誰か知らない、大人興味あるけど前には出ない
地域活動に参加する機会があまりない、そもそも活動自体がほぼない
住んでいる地域によって子ども会がなかったり、参加したい行事に加われない
子ども会の存続（町内会費、役員の負担）
■ その他のこと
子供同士があそべていない
親の都合で子供同士が遊べない時がある
夏、子どもたちだけで遊ぶ場所が少ない
学校外の居場所（遊び場）



3 ワーク2の結果

(1) テーマ

☐ こども どんなまちなら「大切にされている」と感じて、住み続けたい？

☐ 大人 こどもが「大切にされている」と感じて、住み続けたいと思えるまちとは？

(2) 意見の概要

全体で出された意見は、93 件でした。年代別にみると、小学生が 29 件、中学生が 25 件、大人が 39 件となっています。

(3) 意見の内容

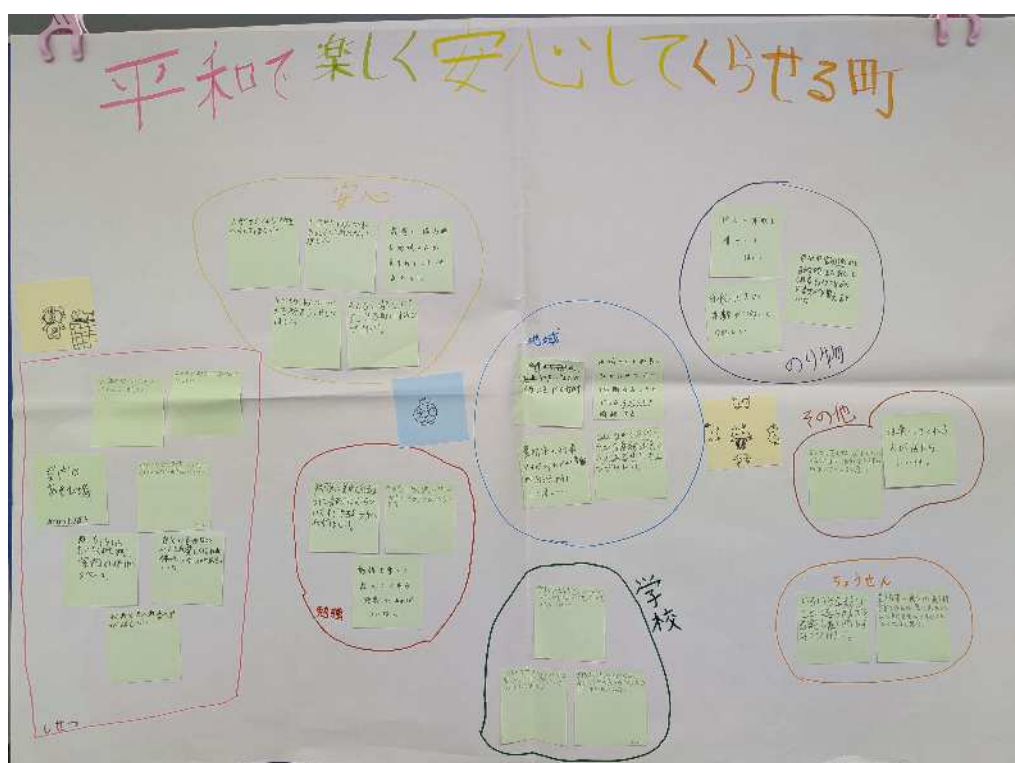
① 小学生

○小学生が住み続けたいまちは、『平和で楽しく安心してくらせる町』であり、下記の意見から導き出されています。

○各キーワードの内容をみると、施設に関しては「あそび場・遊具」、安心に関しては「安心して過ごせるまち」、公共交通に関しては「バスの増便」が、それぞれ多くなっています。

内容 ※原文のまま
平和で楽しく安心してくらせる町
■「施設」に関すること
公園のゆうぐをもっとふやしてほしい
子どもが遊ぶところがもっとほしい！
室内のあそび場（れいぼう、だんぼう）
自分の自由なことができる楽しくなれるスペースがあるといいな
だれでも入れるへやがほしい
ねっちゅうしょうたいさくのために、室内の休けいスペース
だがしやさんを作ってほしい（むかしながらの遊びがやりたい！）
■「学校」や「勉強」に関すること
学校のぎょうじ（うんどう会とか？）に大人がさんかして、ぶかつをやらせてほしい！
ランドセルがとっっっっっっても重いから、リュックサックでもOKにしてほしい！
学校まで行くのに 30 分かかって夏はとくに大変なので、とちゅうまでくるまでおくってほしい
勉強に集中できるように静かにおちついてすごせるようなへやがほしい
学校の勉強がゲームみたいに遊びながらできる
勉強を楽しく教えてくれる施設があればいいな～

内容 ※原文のまま	
■「安心」に関すること	
	子どもが安心してくらせる所を心やしてほしい
	みんなと安心してすごせる町にすみつづけたい
	じこやじけんがおきにくい町になってほしい
	夜遅く帰る時も地域の人が見まわりしてくれると安心
	人がすくない所をへらしてほしい
■「地域」に関すること	
	やたいなどがくるにぎやかなまち
	地域の人と仲良くなるために月に1回関わることのできるイベントを開催する
	豊明市の行事やイベントの情報がわかるようにしてほしい
	みんなと交流できる児童館がたくさんあるまちに住みつづけたい
■「公共交通」に関すること	
	バスの本数を増やしてほしい
	市民バスの本数が多いとうれしい
	自分の家の近くから目的地までおくってくれるチョイソコなどの台数が増えるといいな
■ その他	
	いろいろな新しいことにちょうせんできる楽しい町にすみつづけたい
	豊明市の良い所、美術館を作れば見に来た人も良い所を知ってすむ人も多くなると思う
	あいさつをしない人もえしゃくするだけでほめてもらえれば、あいさつすると思う
	注意してくれる人が居たらいいな

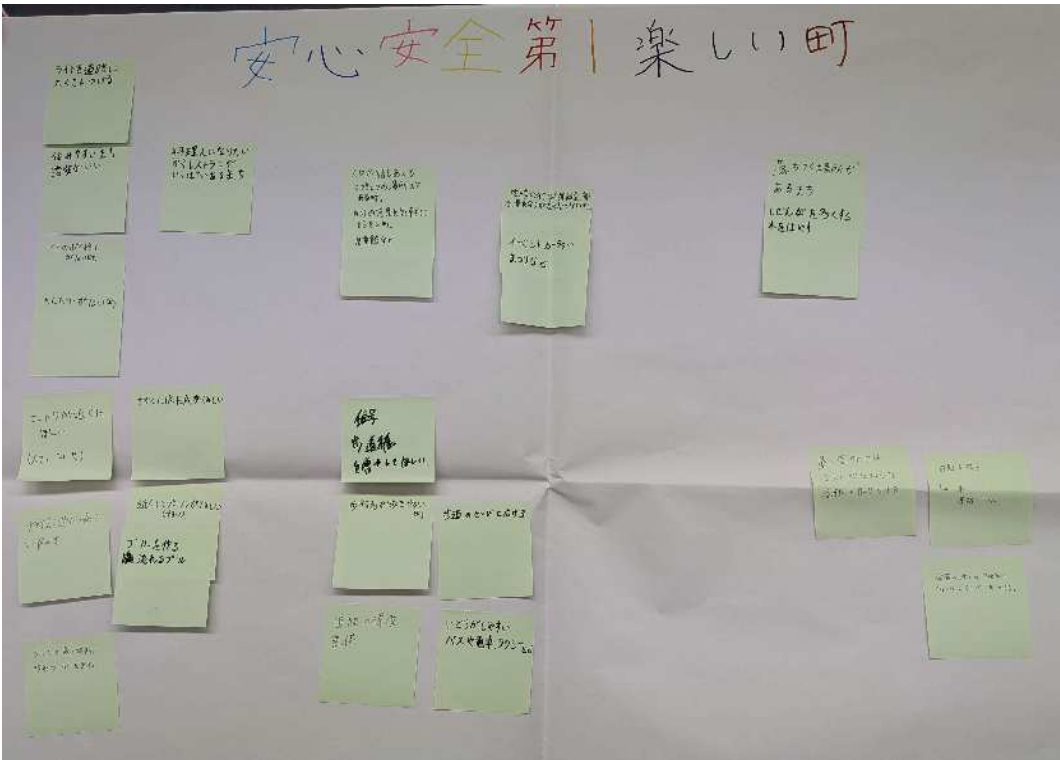


② 中学生

○中学生が住みたいまちは、『安心安全第1 楽しい町』であり、下記の意見から導き出されています。

○各キーワードの内容をみると、居場所に関しては「過ごしやすい場所」、道路・歩道に関しては「歩道の整備」、施設に関しては「プール」が、それぞれ多くなっています。

内容 ※原文のまま
安心安全第1 楽しい町
■「居場所」に関すること
施設（遊び場）を増やす
人々が話しあえるこうきょうの場所がある町
落ちつく場所があるまち
日陰を増やす →木、屋根、テント
自然を多くする、木をはやす
暑い室外にはミストがでるような屋根を取りつける
公園の近くのコンビニにウォーターサーバーをつける
■「道路・歩道」や「公共交通」に関すること
歩道橋を増やしてほしい
歩行者が歩きやすい町
歩道のせいを広げる
道路の環境、整備
ライトを道路にたくさんつける
いどうがしやすいバスや電車、タクシーなど
■「施設」に関すること
料理人になりたいからレストランがいっぱいあるまち
ニトリが近くにほしい（大きいみせ）
ちかくに I K E Aがほしい
近くにプールがほしい（やすい）
プールを作る。流れるプール
■「安心安全」に関すること
住みやすいまち、治安がいい
ゴミのポイ捨てがないまち
問題がない町
■「祭り・行事」に関すること
イベントが多いまつりなど
学校の行事（運動会、部活、発表など）がなくなるないまち
■ その他
自分の意見を気軽に話せるまち（児童館など）
スーパーの遠い場所に移動スーパーを出す



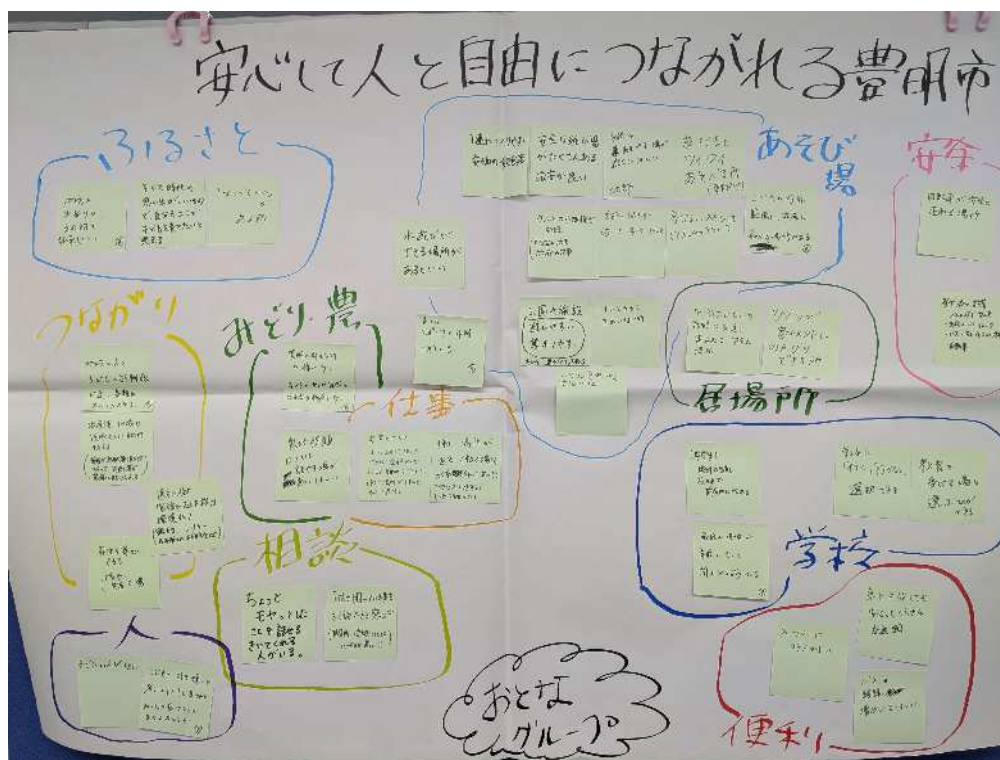
③ 大人

○こどもたちが将来も住み続けたいと思える豊明市にするために大人が必要だと思うこと・ものは、『安心して人と自由につながる豊明市』であり、下記の意見から導き出されています。

○各キーワードの内容をみると、遊び場や居場所に関しては「安全に遊べる場所」、ふるさとや自然、人とのかかわりに関しては「子育てをここでしたいと思える」、便利や安全に関しては「移動しやすい」が、それぞれ多くなっています。

内容 ※原文のまま
安心して人と自由につながる豊明市
■「遊び場」や「居場所」に関すること
子連れで入りやすい安価の飲食店
安全な遊び場がたくさんある、治安が良い
子供が遊べる場が近くにほしい（北部）
友だちとワイワイあそべる所（東沓掛区）
カラットの小規模な施設（空き家の活用、ボランティアの活用）
こどもの行動範囲に、安全に遊べる場所がある
遊びやすい、集まりやすい公園や施設 キレイ、草が刈ってある
トイレとかがきれいな街
いつでもきれいな場所でいたい
水遊びができる場所があるといい
季節を問わず遊べる場所・施設
暑くないあそびば（アスレチックとか）
中高生になっても気軽に友達と集まれる安全な場所
ひとりで家以外にのんびりできる所
いろんなスポーツを体験できると良い
■「ふるさと」「自然」や「人とのかかわり」に関すること
地域のお祭りや文化財を継承していく
子ども時代の思い出が いいもので、自分もここで子育てをしたいと思える
「なつかしい～」がある所
地域の人と子どもの距離感が近い、気軽にあいさつできる
出産後、地域や近所の人に助けてもらえる（若者が年配者に助けてもらって、年配者がわか者に助けられる）
遠方に住む家族や友人を招ける環境作り（宿泊先、レンタカー、住み替えの補助金など）
男性が参加できる話し合い・共有の場
すごくいい人がほしい
子どもの好き嫌いや考えは一人ひとり違うので、みんなを受け入れてあげる考えをもつ
豊明の好きなおとこ→緑が多い、子どもが緑や自然とふれ合う機会が多い
農地問題について話せる場所があってほしい
■「便利」「安全」や「相談先」に関すること
車を手放しても安心してらせる交通網
スーパーに行きやすい
バス・路線を増やしてほしい
自転車安全に走れる場所
登下校の支援：スクールガード、ランドセル→リュック、パス、ちょいそこ活用、自転車
ちょっとモヤっとしたことを話せる、きいてくれる人がいる
子供が困っている事を相談できる窓口を！（市役所、学校 etc. はハードルが高い?!）

■「学校」に関すること	
(中学生) 規則の見直し。おしゃれで前向きになれる	
家庭や地域が学校ともっと関われるようになる	
学校に「行く」「行かない」選択できる	
教育を受ける場を選ぶことができる	
■「仕事」に関すること	
農業をせっかくおしているの、個人ではなく会社形式にして雇用を作れると、働く場所が増えて良いと思う	
働く場所がある、働く場所が市外にあってもアクセスしやすい(地下鉄とか)	



豊明市こども計画策定に向けた豊明市こどもまんなかワークショップ
【実施報告書】

発行・編集 豊明市 健康福祉部 子育て支援課 児童係
〒470-1195 愛知県豊明市新田町子持松1番地1
TEL：0562-85-3950 FAX：0562-92-1141
E-mail：koshien@city.toyoake.lg.jp

発行年月 2026年8月